

平成 24 年度

静岡県里親制度に関する県民意識調査

報 告 書（概要版）

平成 25 年 3 月

静岡県健康福祉部こども未来局
こども家庭課

<調査の概要>

目的：県民の里親制度に関する意識を把握し、保護が必要な児童に対し、より家庭的な環境での養育を提供するための里親制度施策検討の参考資料とする。

調査地域：静岡県全域

調査対象：県内在住の満20歳以上の男女個人

標本数：2,000 ⇒ 回収数：959（回収率48.2%）

調査時期：平成25年2月

調査機関：アイティインター・ナショナル株式会社

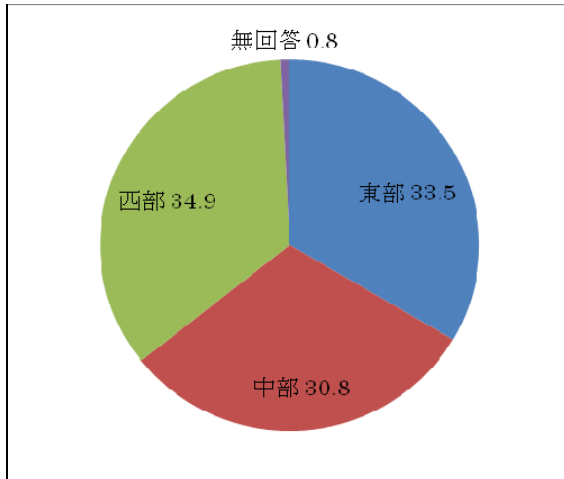
<調査の内容>

- A 「里親」・「里親制度」について
- B 里親制度等の広報啓発について
- C 「里親」への関心について
- D その他（自由記述）

1 回答者の属性

【地域別】

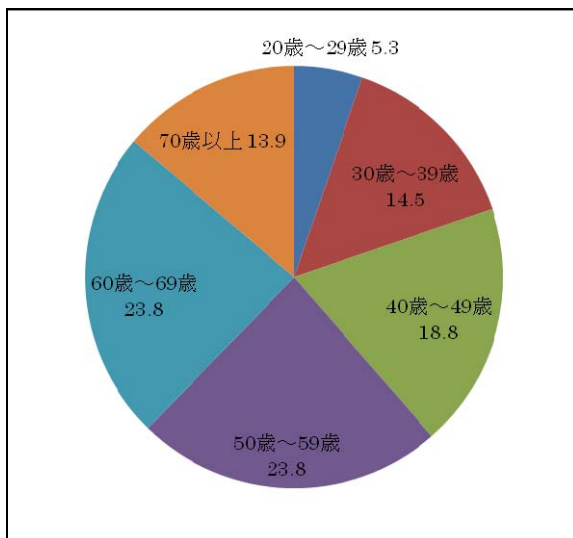
(N=959) 単位：%



居住地	件数	(全体)%
東部	321	33.5
中部	295	30.8
西部	335	34.9
無回答	8	0.8
計	959	100

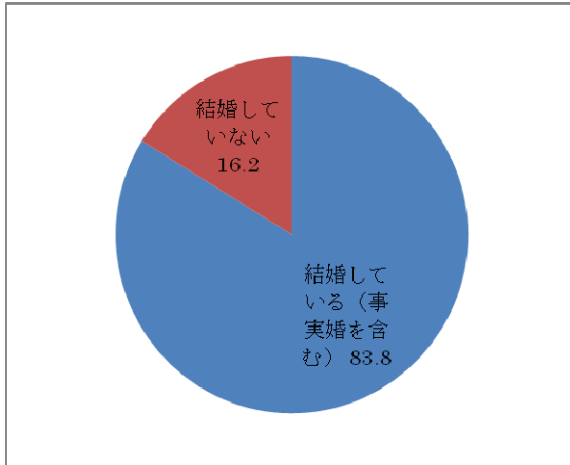
【年代・性別】

(N=959) 単位：%



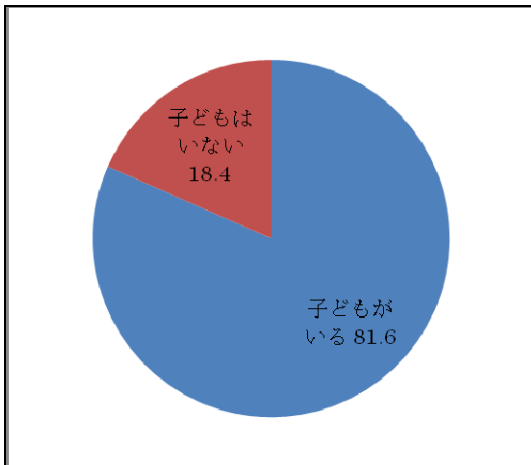
カテゴリ	男性	女性	計	%
20～29歳	25	26	51	5.3%
30～39歳	56	83	139	14.5%
40～49歳	54	126	180	18.8%
50～59歳	81	147	228	23.8%
60～69歳	101	127	228	23.8%
70歳以上	71	62	133	13.9%
計	388	571	959	100.0%

【婚姻の有無】 (N=959) 単位：%



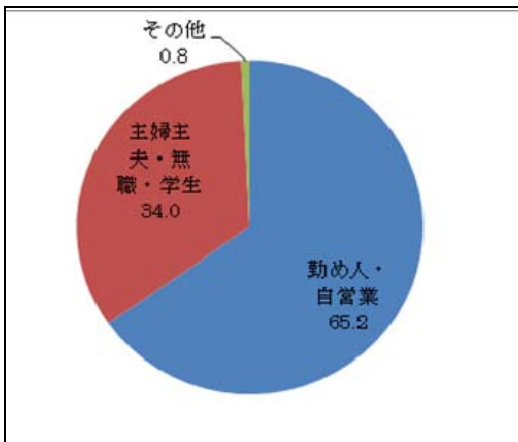
カテゴリ	件数	%
結婚している	804	83.8
結婚していない	155	16.2
計	959	100

【子供の有無】 (N=959) 単位：%



カテゴリ	件数	%
子どもがいる	783	81.6
子どもはいない	176	18.4
計	959	100

【職業】 (N=959) 単位：%



カテゴリ	件数	%
勤め人・自営業	625	65.2
主婦・主夫・無職・学生	326	34.0
その他	8	0.8
計	959	100.0

2 調査結果概要

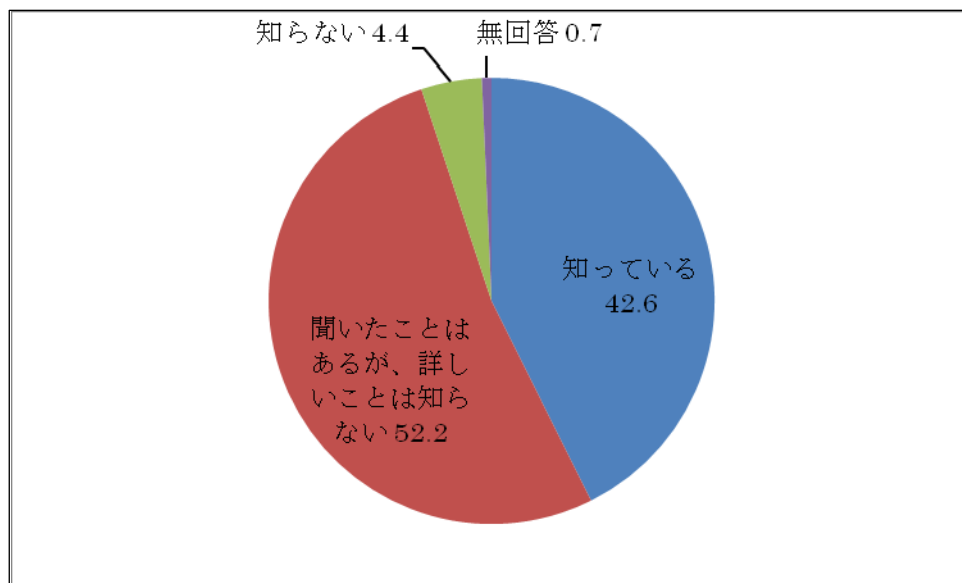
(A) 「里親」・「里親制度」について

問1 「里親」を知っていますか？（1つ選択）

「里親」を「知っている」（42.6%）と「聞いたことはあるが、詳しいことは知らない」（52.2%）の合計が94.8%で、「里親」という言葉は知られているものの、詳しいことは知られていなかった。

性別では、全体的に男性より女性の方が「里親」の認知度が高く、年代では、年代の高い人の方が認知度は高かった。

(N=959) 単位：%

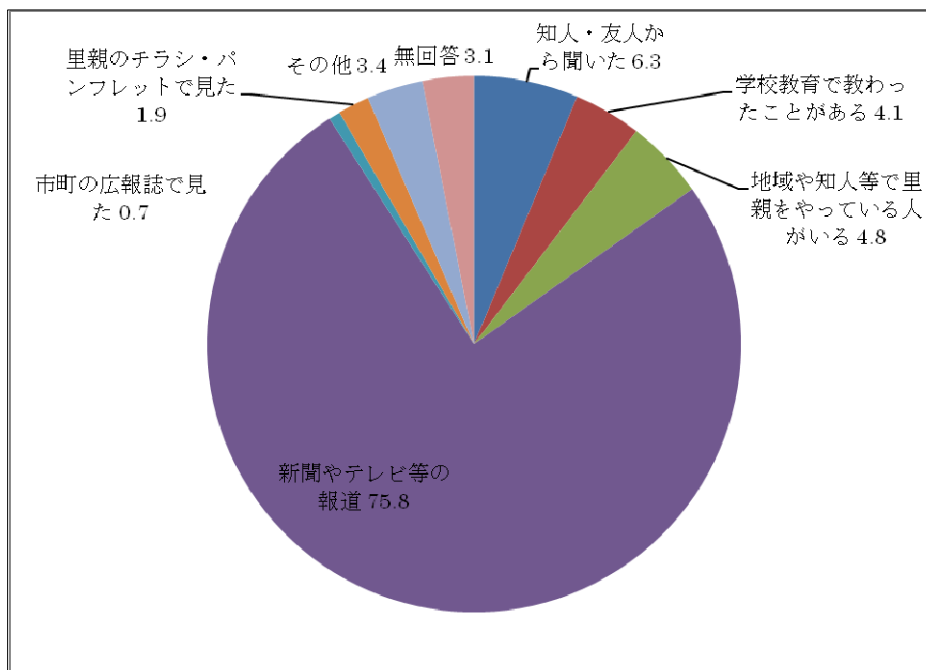


問2 「里親」をどのようにして知りましたか？どこで聞きましたか。(1つ選択)
※問1で、1.知っている、2.聞いたことがある、と答えた方のみ。

「新聞やテレビ等の報道」(75.8%)が圧倒的に高く、次いで、「知人・友人から聞いた」(6.3%)と「地域や知人等で里親をやっている人がいる」(4.8%)の合計が14.5%と周囲の人から知る割合が高かった。

どの年代でも「新聞やテレビ等の報道」で知った割合が圧倒的に高く、20歳～29歳の女性は、「新聞やテレビ等の報道」に次いで「学校教育で教わったことがある」の割合が29.2%と高かった。

(N=908) 単位：%



問3 「里親」について知っていること。(複数回答可)

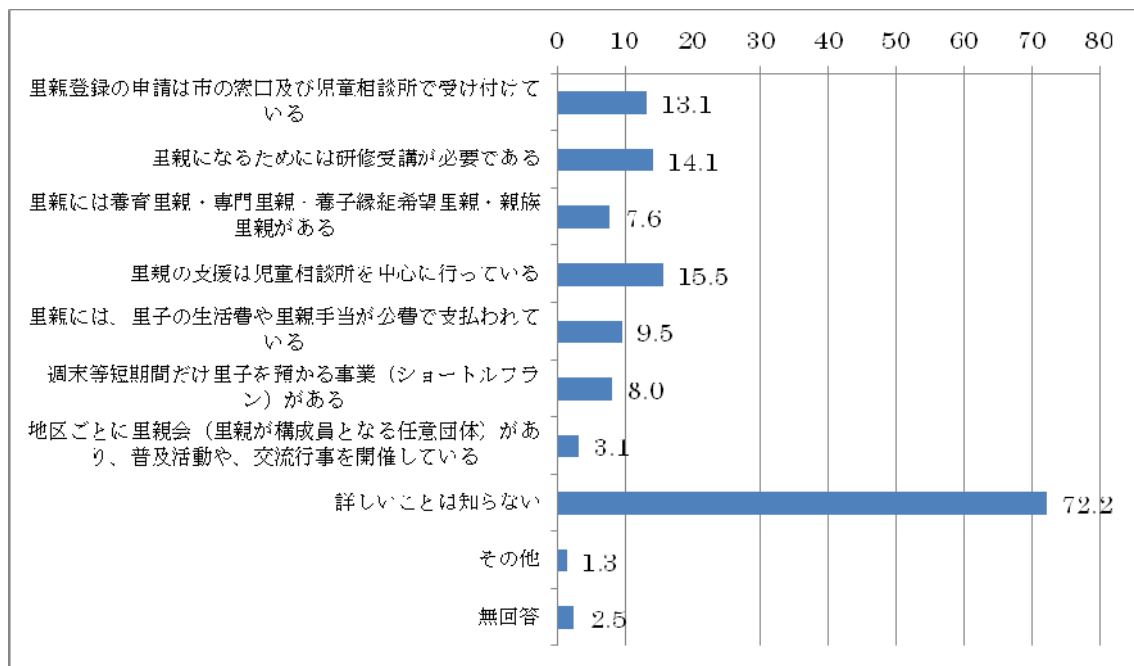
※問1で、1.知っている、2.聞いたことがある、と答えた方のみ。

「里親」について「詳しいことは知らない」(72.2%)が最も高く、他について知っている割合はどの回答も10%前後となった。

どの年代も「詳しいことは知らない」が高かった。

性別では、男性より女性の方が「里親」について詳しく知っている割合が高かった。

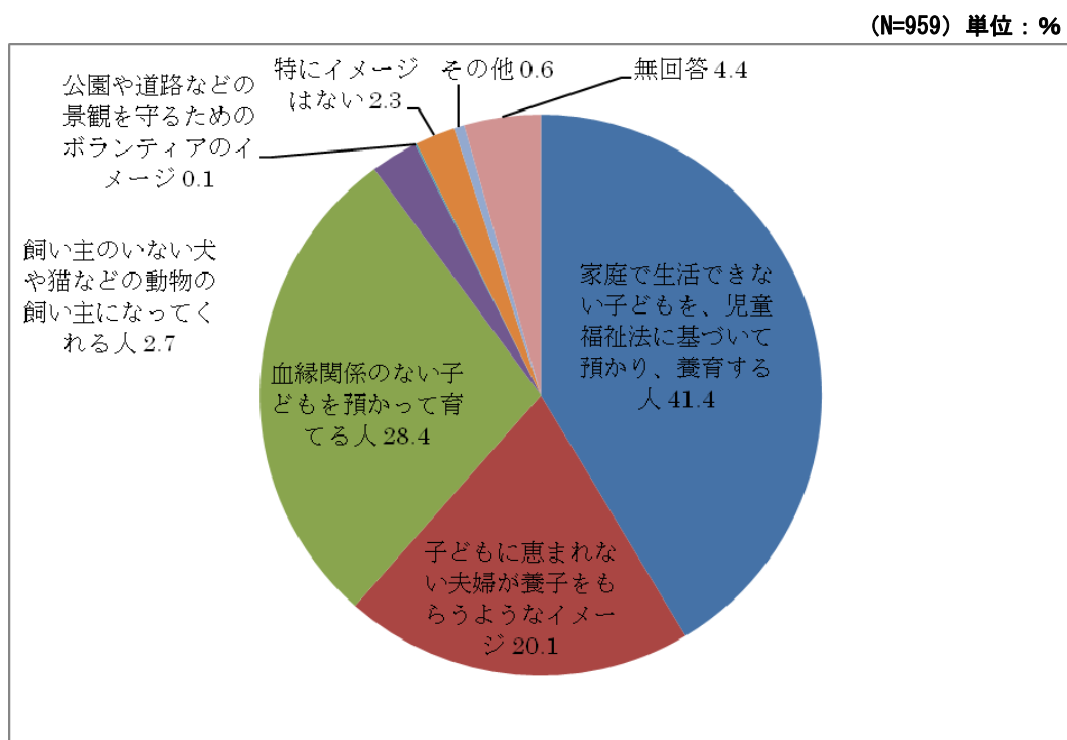
(N=908) 単位：%



問4 「里親」という言葉を聞いて、どのようなイメージを持ちますか。
(1つ選択)

「里親」という言葉のイメージとして、「家庭で生活できない子どもを、児童福祉法に基づいて預かり、養育する人」(41.4%)が最も高く、次いで「血縁関係のない子どもを預かって育てる人」(28.4%)、「子どもに恵まれない夫婦が養子をもらうようなイメージ」(20.1%)となった。

若い年代の人は、「子どもに恵まれない夫婦が養子をもらうようなイメージ」の割合が高かった。



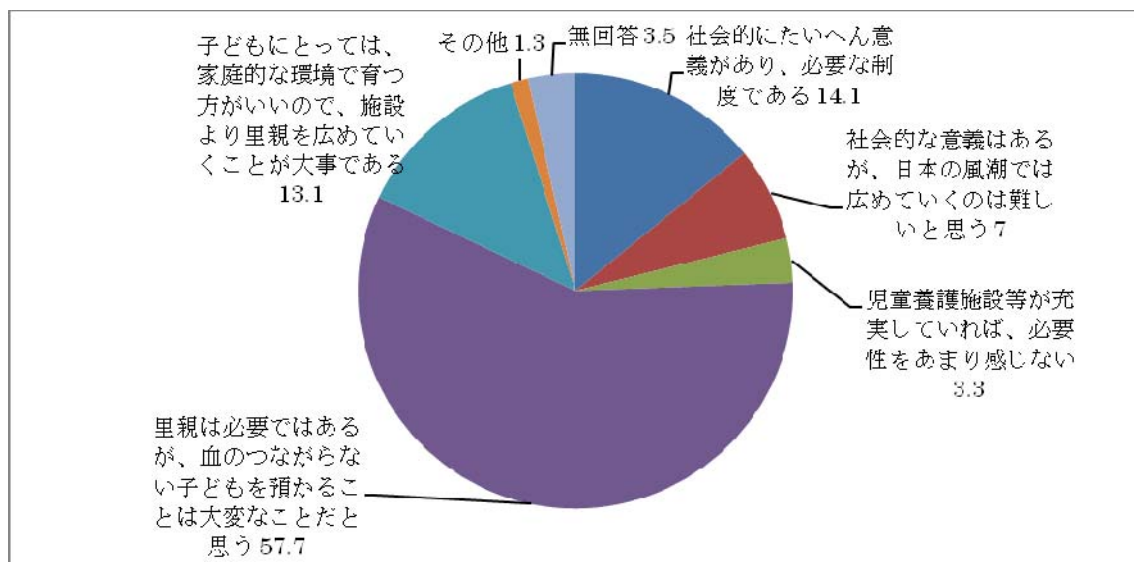
問5 「里親」について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つ選択)

「里親」について、最も近い考えとして、「里親は必要ではあるが、血のつながらない子どもを預かることは大変なことだと思う」(57.7%)が最も高く、「里親」が普及しない要因の1つであることがうかがえる。次いで、「社会的にたいへん意義があり、必要な制度である」(14.1%)、「子どもにとっては、家庭的な環境で育つ方がいいので、施設より里親を広めていくことが大事である」(13.1%)となった。

年代・性別、地域別で見ても「里親は必要ではあるが、血のつながらない子どもを預かることは大変なことだと思う」が高かった。

また、「児童養護施設等が充実していれば、必要性をあまり感じない」が70歳以上の男性は10.8%と他の年代・性別別と比較し、高い値となった。

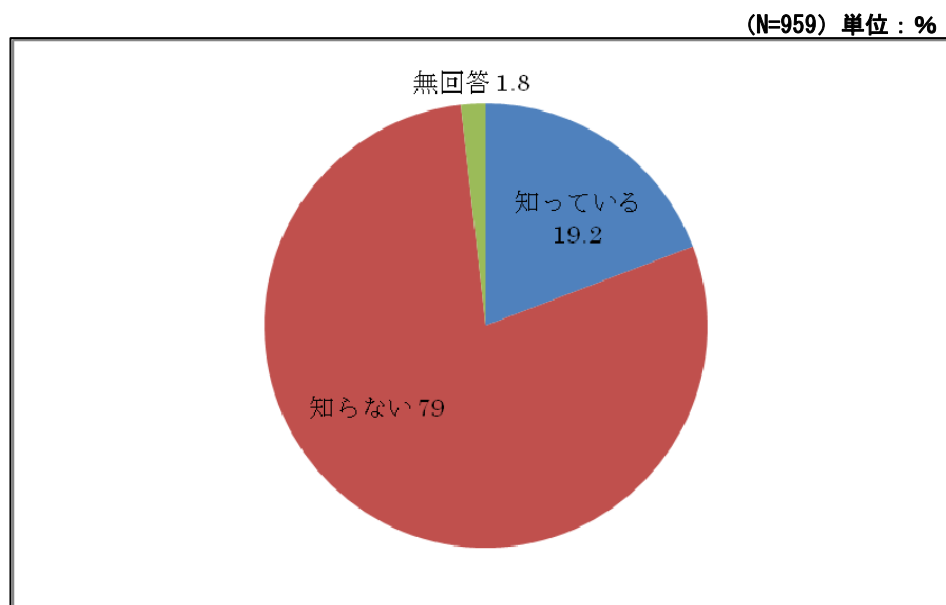
(N=959) 単位：%



(B) 里親制度等の広報啓発について

問6 里親制度の問い合わせ先は各児童相談所（概要については市町の児童福祉担当課でも可）となっていますが、知っていますか。（1つ選択）

里親制度の問い合わせ先が各児童相談所であることを「知らない」が79%、「知っている」が19.2%となっており、認知度は低かった。



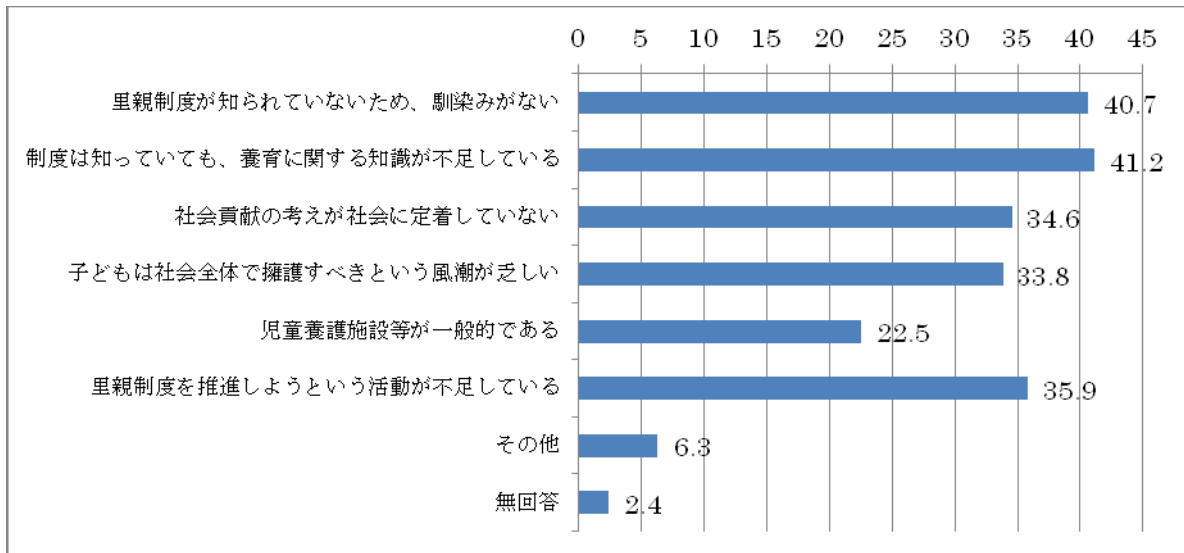
問7 要保護児童に占める里親委託の割合は、アメリカ77%、イギリス71.7%であるのに比べ、日本は12%とあまり普及していない状況にあります。日本において、里親制度が広く普及しない要因は何だと思えますか。(3つまで選択)

里親制度が広く普及しない要因として、「制度は知っていても、養育に関する知識が不足している」(41.2%)と「里親制度が知られていないため、馴染みがない」(40.7%)と「里親制度を推進しようという活動が不足している」(35.9%)の割合が高く、里親制度の広報啓発不足がうかがえる。次いで「社会貢献の考えが社会に定着していない」(34.6%)、「子どもは社会全体で擁護すべきという風潮が乏しい」(33.8%)の割合が高かった。

性別でみると男性は「里親制度が知られていないため、馴染みがない」(44.6%)が最も高く、女性は「制度は知っていても、養育に関する知識が不足している」(46.0%)が最も高かった。

どの地域も「里親制度が知られていないため、馴染みがない」と「制度は知っていても、養育に関する知識が不足している」が高く、「児童養護施設等が一般的である」が最も低い。

(N=959) 単位：%

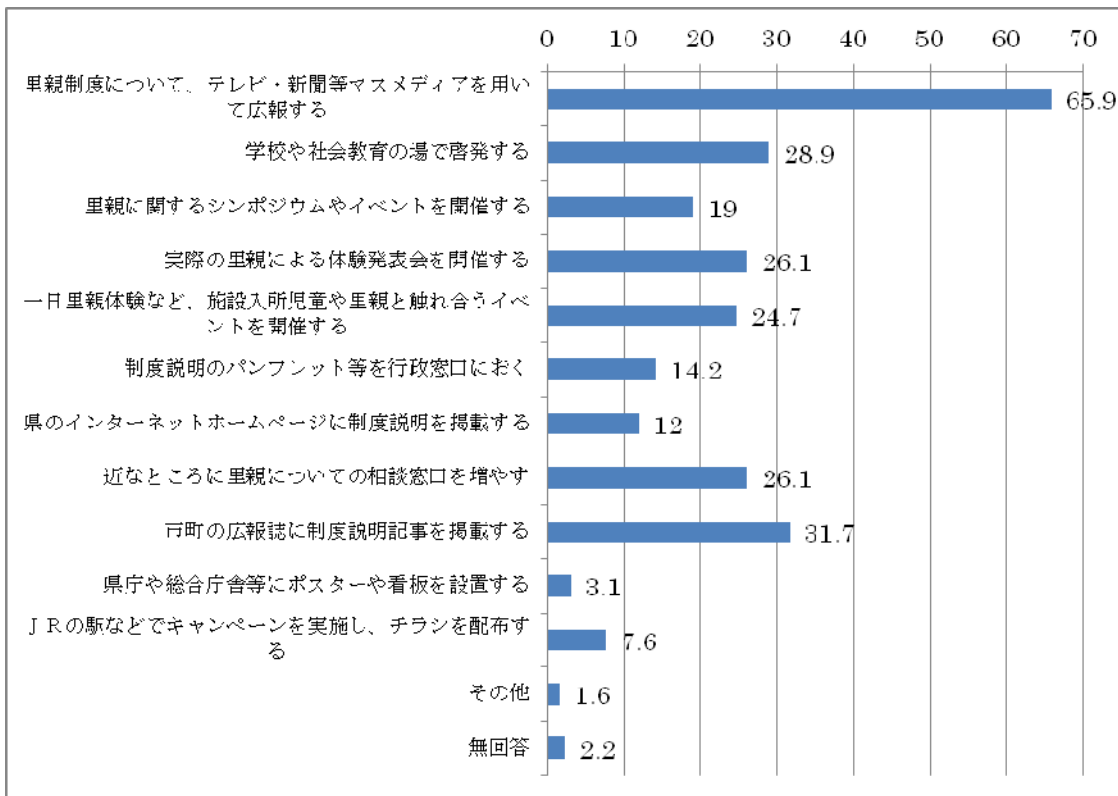


問8 今後、広く県民の皆さんに里親制度に対する理解と協力を求めていくための取り組みとして、効果的だと思うことは何ですか。（3つまで選択）

効果的だと思う取り組みとして、「里親制度について、テレビ・新聞等マスメディアを用いて広報する」（65.9%）が最も高く、次いで「市町の広報誌に制度説明記事を掲載する」（31.7%）、「学校や社会教育の場で啓発する」（28.9%）となった。

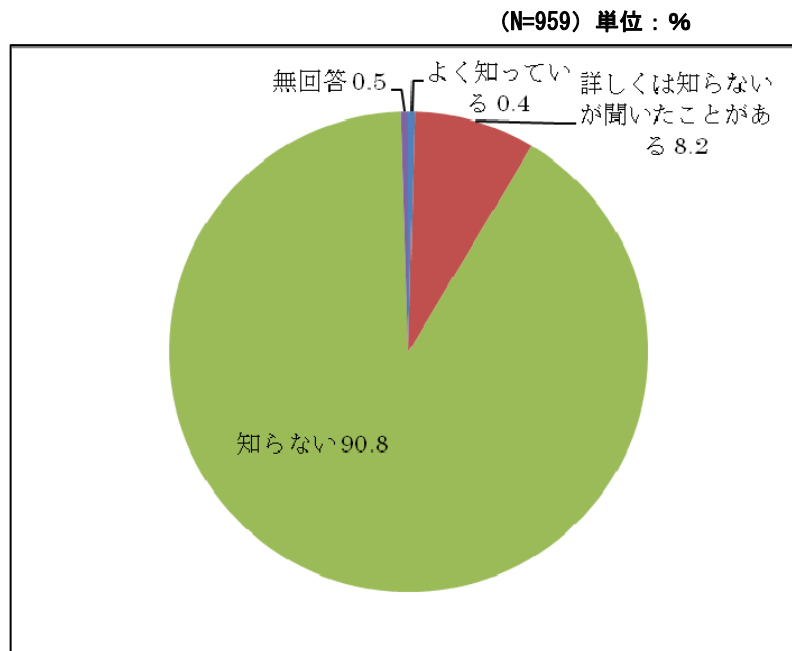
また、「県庁や総合庁舎等にポスターや看板を設置する」、「JRの駅などでキャンペーンを実施し、チラシを配布する」の割合が低く、ポスター等の掲示やチラシ配布は効果的と思われないことがうかがえる。

(N=959) 単位：%



問9 毎年、10月は「里親月間」として、各地で里親を求める運動を実施していますが、知っていますか。(1つ選択)

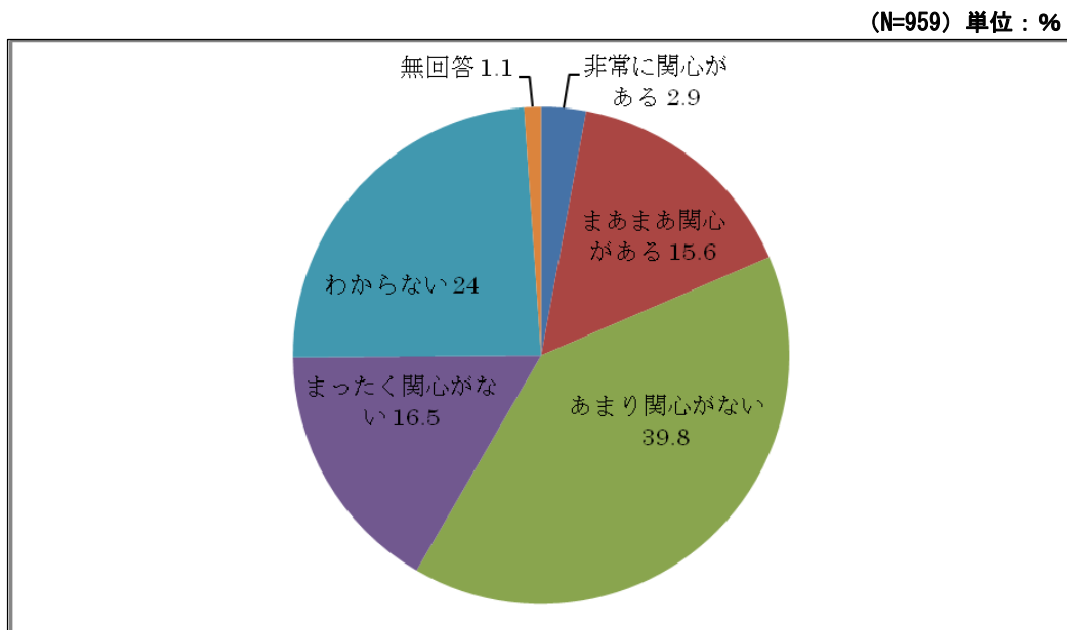
里親を求める運動の実施について、「知らない」(90.8%)、「詳しくは知らないが聞いたことがある」(8.2%)の合計が99.0%で、認知度は低い。「よく知っている」は僅か0.4%となった。



(C) 「里親」への関心について

問10 「里親」になり、児童を養育することに関心がありますか？（1つ選択）

「里親」になり、児童を養育することへの関心について、「まあまあ関心がある」(15.6%)、「非常に関心がある」(2.9%)の合計は18.5%、「あまり関心がない」(39.8%)、「まったく関心がない」(16.5%)の合計が56.3%で、関心の低さがうかがえる。



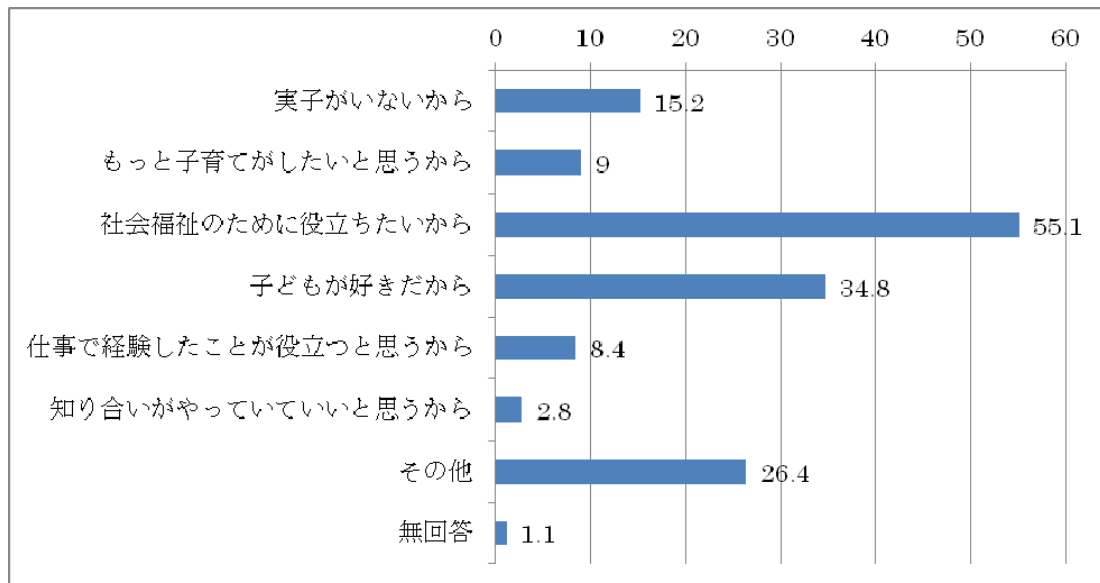
問 1 1 「里親」になることに関心をお持ちになる理由は何ですか？

※問 1 0 で、1. 非常に興味がある、2. まあまあ興味があると回答した方のみ。（3 つまで選択）

「里親」になることに関心を持つ理由として、「社会福祉のために役立ちたいから」が 55.1%と最も高く、次いで「子どもが好きだから」が 34.8%だった。

また、実子がないことを理由に関心を持つ割合は全体の 15.2%にとどまったが、性別で見ると「実子がないから」が男性（21.1%）、女性（10.3%）と男性の割合が高かった。

(N=178) 単位：%



問12 「里親」になることに興味を持たない理由は何ですか？

※問10で、3.あまり関心がない、4.まったく関心がないと回答した方のみ。(3つまで選択)

「里親」になることに興味を持たない理由として、「責任がもてないから」(64.3%)が最も高く、次いで「経済的に難しいから」(54.3%)となった。

(N=540) 単位：%

